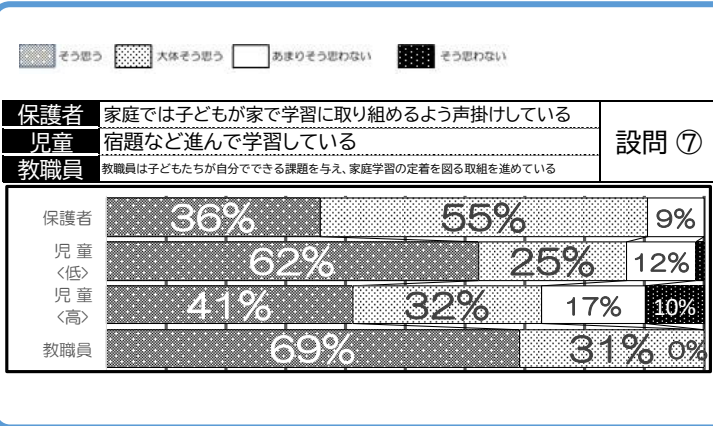




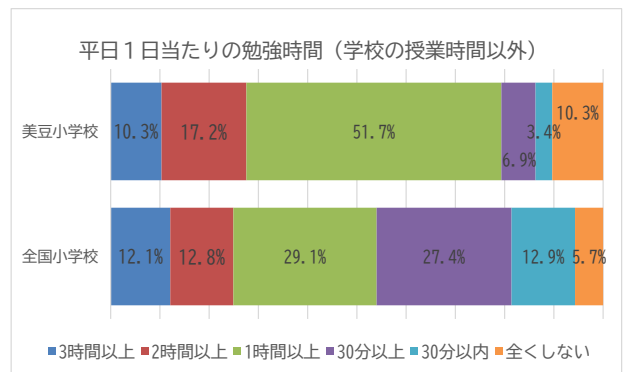
日頃は本校教育活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。今回の美豆だよりでは、美豆小学校が大切にしている自学自習についてご紹介します。

子どもたちの生きる力の基盤となる『自ら学ぶ力（計画する⇒実行する⇒振り返る⇒計画する⇒…）』を育むためには、自学自習の習慣化に向けて取り組むことが重要です。本校では、教育目標『良いと思うことをまっすぐにできる子～自分で考え、価値を見出し、動き出す子ども～』のもと、日々の授業の中で子どもが学びへの意欲を高め、おうちでの学習（家庭学習）につなぐサイクルの確立を目指してきました。



左のグラフは後期学校評価アンケートでの回答を示したものです。教職員・児童・保護者のいずれも、「そう思う」「だいたいそう思う」という肯定的な回答が90%前後を占めており、家庭学習に関わる意識の高さが表れていました。低学年と高学年を比較すると高学年の方が家庭学習を自力で行う場面が増え、学習内容が難しくなり“進んでやる”ことへのハードルも上がる様子が見られました。

右のグラフは令和7年度の全国学力・学習状況調査質問紙の回答結果を示したものです。平日1日あたりの勉強時間について美豆小学校と全国の小学校を比較すると、美豆小の子どもたちは「1時間以上」学習する割合が極めて高く、高い学習習慣が根付いていることがわかります。一方で、「全くしない」割合は全国の約2倍となっています。



自学自習の多くは家庭学習で行われます。例えば、平日に1時間ずつ家庭学習をした場合は年間261時間（1時間×平日261日）、2時間ずつの場合は年間522時間も学ぶことになります。一回の学習時間は少なくても、毎日家庭学習を続けることで学ぶことが習慣化し、大きな力となることが予想できます。

もちろん、自学自習は教科の学習をするだけのものではありません。自学自習には、読書や日記、観察記録、調べ学習、運動習慣づくりなど、「自分で学びをつくる」活動も含まれます。子どもたちが興味をもったことに自ら問いを立て、調べ、まとめ、発表する過程が、単なる知識の定着にとどまらず、“学び方を学ぶ力”を育てます。



ご家庭におかれましても、「今日の学習で頑張ったところはどこ？」「次はどんなことに挑戦したい？」といった声かけをしていただくことで、子どもたちの意欲を高める大きな力となります。今後も、学校と家庭が同じ方向を向き、子どもたちの“自ら学ぶ力”を育てていけるよう努めてまいります。引き続き、本校教育へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

次のページで学年ごとの学習の特色や家庭学習のポイントを紹介しています

■ 小学校1～2年生

【学習の特色】

- 正しい鉛筆の持ち方、学習準備、整理整頓など、基本的な学習習慣を身につける大切な時期です。
- 「読み・書き・計算」など、基礎的・基本的な学習が始まります。
- 生活に結びついた学習や、具体物を使った体験的な活動が多く行われます。
- GIGA 端末を使い始め、絵を描いたり、簡単な文字入力に取り組みます。



【家庭学習のポイント】

① 最後までやり遂げる習慣をつける

学習のけじめをつけ、「自分で決めたことはやりきる」経験を積むことが大切です。終わったかどうかを確認してあげてください。

② 家族と一緒に学習をサポート

自分だけで学習方法や内容を決めるのは難しい時期です。

静かな環境づくり、読書タイムの設定、子どもの話を最後まで聞くことなど、ご家庭での関わりを深めてあげてください。

■ 小学校3～4年生

【学習の特色】

- 「社会」「理科」「総合的な学習の時間」など新しい教科が加わり、学習内容が広がります。
- 地図帳や資料集、辞典などを使う調べ学習が増える時期です。
- 各学年で200字の新しい漢字を学習します。
- 算数では、分数・小数など抽象的な内容の学習に入っていきます。
- GIGA 端末での文字入力や写真編集など、ICT活用の幅が広がります。

【家庭学習のポイント】

① 興味のあることを深める学習を応援

予習・復習だけでなく、子どもが「知りたい」「調べてみたい」という内容に取り組むことで、家庭学習の質が高まります。

② 他の子と比べず“がんばり”を認める

個人差が出てくる頃です。兄弟姉妹や友達との比較ではなく、「努力の過程」をしっかりほめてあげてください。



■ 小学校5～6年生

【学習の特色】

- 論理的に考える力や、抽象的な内容を扱う学習が増えます。
- 課題を見つけ、解決する学習（問題解決的な学習）がより深まります。
- 「自分から学ぶ力」「学び方・考え方」を育てる重要な時期です。
- 社会・世界へ目を向けた学習内容へと広がります。
- ICTの活用が進み、文字入力の速度向上や共同編集、オンラインでのコミュニケーション活動も行います。

【家庭学習のポイント】

① 予定を立てて計画的に学習する

予習・復習を中心に、見通しを持った学習ができるようサポートしてください。

② 分からない時は相談する姿勢を大切に

「急がば回れ」の気持ちで、わからないこと一つ一つ解決できるようにしてあげてください。

